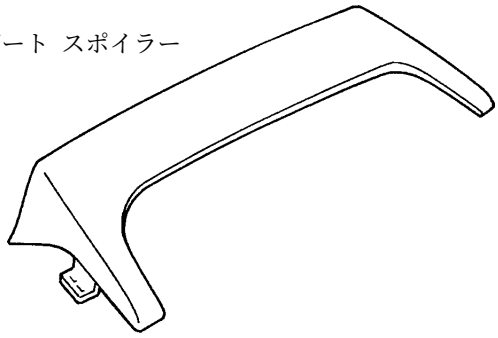
HONDA ACCESS

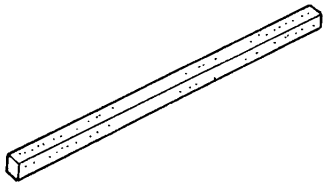
取付説明書	〈商品名〉	〈機種名〉	〈発行年月〉
	テールゲート スポイラー	アヴァンシア	2001.8

構成部品

① テールゲート スポイラー

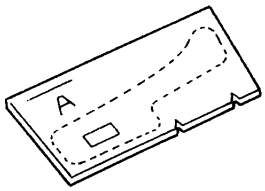


② ダム ラバー (4)

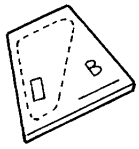


③ スクリュー (4)

④ 型紙A

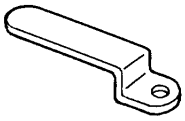


⑤ 型紙B



⑥ ジャック ナット (4)

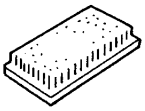
⑦ ツール



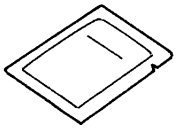
⑧ ボルト

⑨ ナイロン ワッシャー

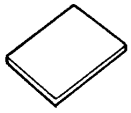
⑩ ファスナー (4)



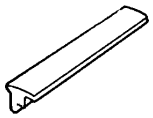
⑪ ＰＡＣプライマー



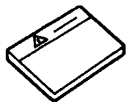
⑫ コーション ラベル[B]



⑬ モール (2)

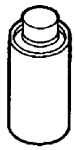


⑭ 注意書



ハマタイトＷＳ-100F
（ウレタン系１液接着剤）

[1] 接着剤



[2] ノズル

[3] ガラス プライマー(G)

[4] ボディー プライマー(M)

[5] ハケ (2)

必要工具／用具

- ⊕ドライバー
- 脱脂洗浄剤(ホンダ アクセス商品)
- ウエス
- 保護手袋
- カッター ナイフ
- 前掛け
- 保護メガネ
- スパナ(10 ㎜)
- Ｔ型レンチ(10 ㎜)
- ガムテープ
- サインペン
- カートリッジ ガン

© 株式会社ホンダアクセス 1999

取り付け上のご注意

このスポイラーはテールゲート ガラス面に接着剤で取り付けます。間違った作業方法や注意事項の無視は接着強度の低下やスポイラー脱落の原因となる恐れがありますので，取り付けを始める前にこの取付説明書を必ず最後まで通して読み，全体の手順を十分理解したうえで正しい取り付け作業を行ってください。

●取り付け作業は各工程ごと左右の作業を同時に行ってください。
●作業場の温度が５℃未満となる場合には取り付け部を暖める等の処置を行ってください。（火気厳禁）
●プライマーは必ず使用してください。使用しなければ，まったく接着されません。
●ガラス プライマーは光の遮断のため，黒色としてあります。カスレ，スケのないように注意して塗布してください。
●貼り付け面の油，ゴミ，汚れ等を完全に拭き取って，脱脂洗浄剤で清掃してください。脱脂洗浄剤は取り付け面以外にかからないようにウエス等にしみ込ませて使用し，また十分に乾燥させてください。

ハマタイトＷＳ-100Ｆの使用上のご注意

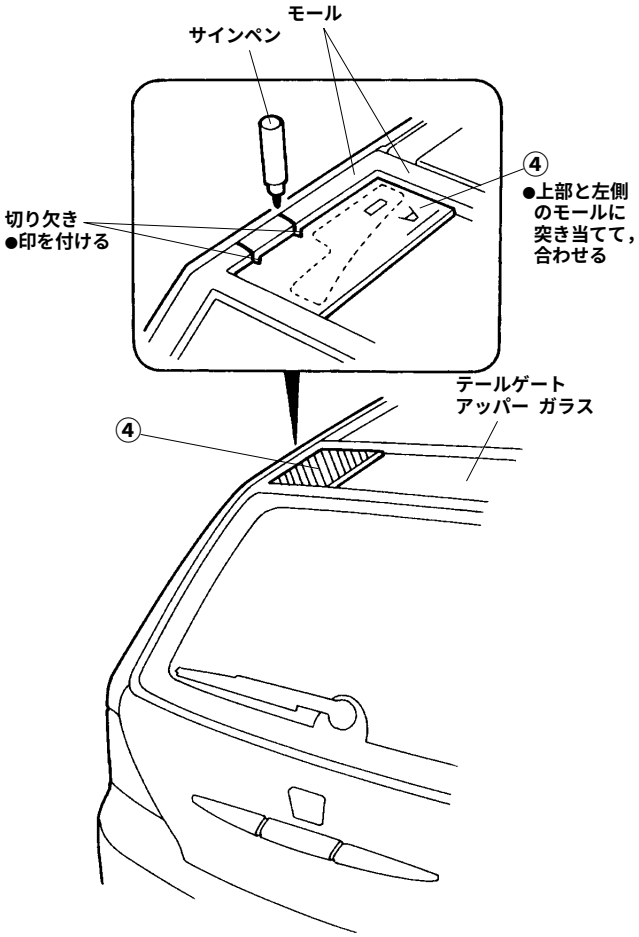
●プライマーは指定品を使用し混用は絶対にしないでください。
●プライマーは接着効果を高めるための重要な働きをするものであり，ガラス用(G)とボディ用(M)の２種類を区別して使用してください。
●接着剤に明記されている製造日を確認し，製造日より３ヶ月を過ぎた物は性能が低下しているので使用しないでください。
●プライマーと接着剤は使用するとき以外，絶対に開封しないでください。
●火気のあるところでは使用しないでください。
●取り扱い作業場所には，局所排気装置を設けてください。
●子供の手の届く所には置かないでください。
●容器から出し入れする時は，こぼれないように注意してください。
●取り扱い中は保護手袋，前掛け等を使用して作業を行ってください。
●取り扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
●万一眼に入った場合や蒸気を吸って気分が悪くなった時，また誤って飲み込んだ場合には，できるだけ早く医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合には速やかに大量の水で洗い，かゆみや炎症が発症した場合は医師の診断を受けてください。
●直射日光の当たらない場所で，25℃以下で保管してください。
●スポイラーの接着以外の用途には絶対に使用しないでください。
●接着剤およびプライマーは変質を防ぐため，取り付けに必要な量より多めに入っています。また，一度開封した接着剤，プライマーは劣化が早まりますので十分な接着強度を確保するために取り付け時は必ずそのつど新しい接着剤およびプライマーを使用し，余った分は保存せずに適切に処理してください。

取り付け方法と手順

注意 作業手順は左側で説明します。各工程ごとに右側も左側と同様の作業を行なってください。

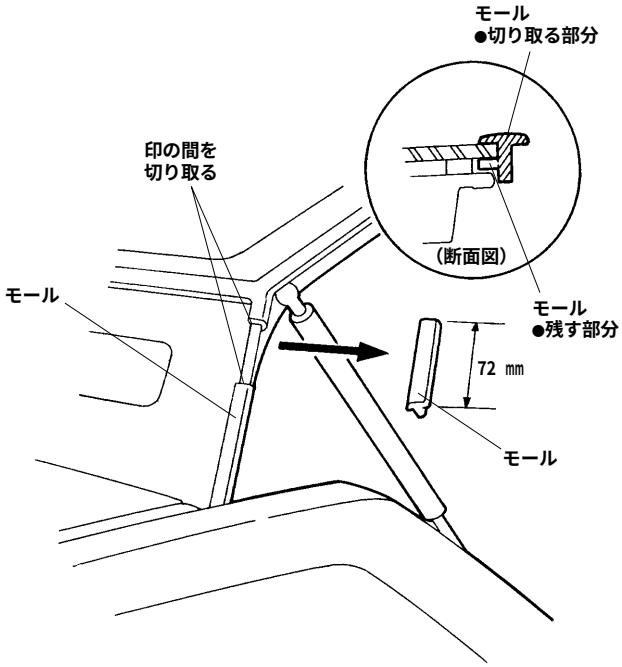
1．型紙A④をテールゲート アッパー ガラスの上部と左側のモールに突き当てて合わせ，型紙A④の切り欠き２ヶ所をサインペンで左側のモールに印を付ける。
●型紙A④を裏返しにして右側のモールにも印を付けてください。

【図１】



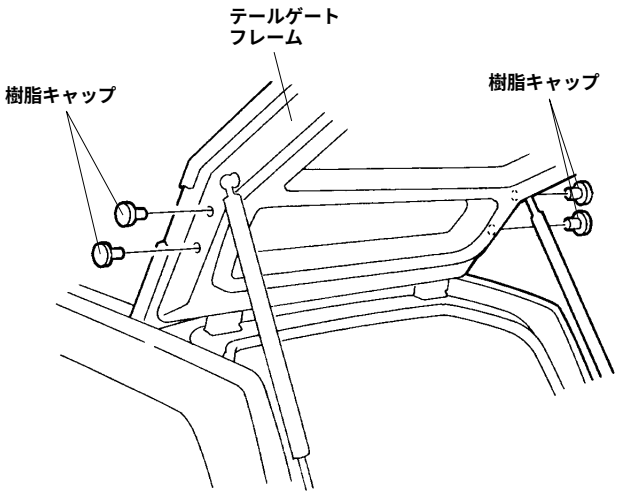
2．テールゲートを開け，左側モールに付けた印(２ヶ所)の間のモール部をカッター ナイフで切り取る。
●印を付けたモール部の間が72 ㎜であることを確認してください。
●カッター ナイフで手等に負傷しないように十分に注意して，作業を行なってください。

【図２】



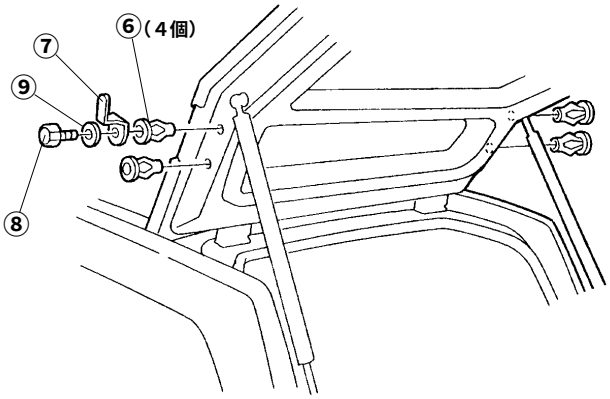
3．樹脂キャップ４個をテールゲート フレーム両側面から取り外す。

【図３】



4．樹脂製キャップを外した穴(４ヶ所)にジャック ナット⑥を差し込み，ツール⑦，ナイロン ワッシャー⑨とボルト⑧を使用して，ジャック ナット⑥（４個)を締め上げる。

【図４】



ジャック ナットの取り付け方法

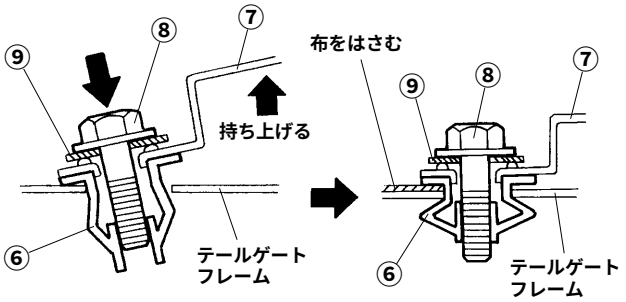
(１)ジャック ナット⑥とテールゲート フレームが接触するようにツール⑦上のボルト⑧をスパナ(またはT型レンチ)で押えつけながらツール⑦を持ち上げ，力を加える。

(２)上記の状態を保ちながら，ボルト⑧をゆっくりと締め付ける。
ここで空転してしまう場合にはもう１度(１)の状態になっていることを確認して締め付ける。
それでも空転してしまう場合には，ジャック ナット⑥とテールゲートの間に布をはさみ，ボルト ⑧を締め付ける。

(３)ジャック ナット⑥が空転せずに締まり始めたら，(布をはさんである場合にはこの時点で抜きとる。)一定した速度で締めつけていく。

注意 ジャック ナット⑥を締めすぎると破断するおそれがあります。

【図４-a】



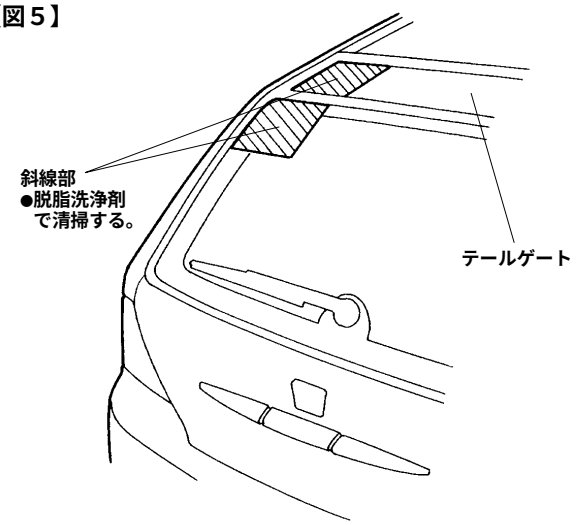
5．ボルト⑧とナイロン ワッシャー⑨をジャック ナット⑥から取り外す。
●ジャック ナット(４個)⑥締め上げ後は，ツール⑦，ボルト⑧とナイロン ワッシャー⑨は不用になります。

6．テールゲート スポイラー①をテールゲートに合わせて取り付け位置(斜線部)を確認し，取り付け部を脱脂洗浄剤で清掃する。

●接着するガラス面にホコリ，水分，油分(ワックス等)が付着していると十分な接着強度が得られず，テールゲート スポイラー①がはがれる原因となりますので必ず指定の脱脂洗浄剤を用いてガラス表面を十分に清掃してください。
●気温の低い戸外から暖かい室内に車を移動した場合等，一時的にガラス表面が結露する場合があります。この状態ではプライマー，接着剤の作用が著しく低下しますので１時間程度室内に放置し，結露が無くなってから作業を行ってください。

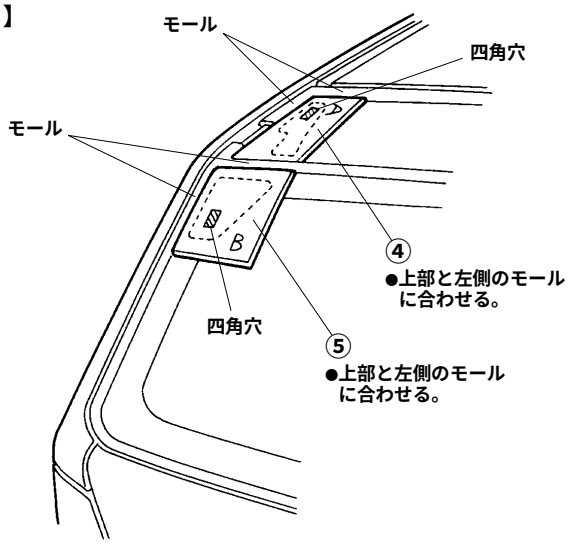
●清掃後は，ガラス面に直接手を触れないように注意してください。ホコリ，水分，油分(ワックス等)が付着した場合は，再度清掃してください。

【図５】



7．【図６】のように型紙Ａ④と型紙Ｂ⑤を合わせ，四角穴(２ヶ所)から見えるガラス面を確認する。
●型紙Ａ④と型紙Ｂ⑤の表，裏面にホコリ，水分，油分等が付着していないか確認して合わせてください。
●四角穴(２ヶ所)の位置を覚えておいてください。

【図６】



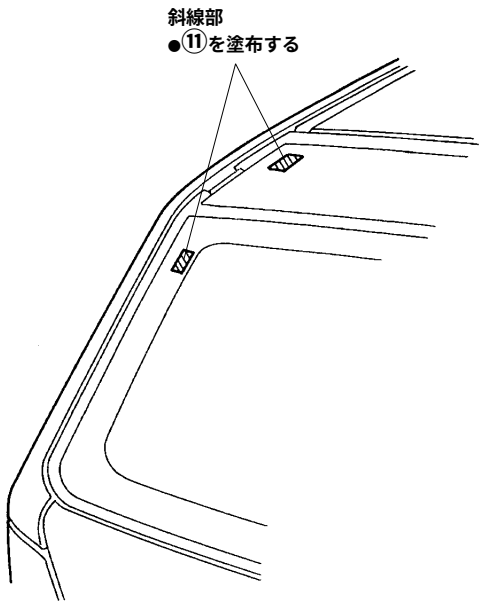
８．型紙Ａ④と型紙Ｂ⑤を外し，四角穴から見えたガラス面(斜線部)にＰＡＣプライマー ⑪を塗布して，３分以上自然乾燥させる。

注意 接着剤セットに入っているビン入りのガラス プライマー(Ｇ)3と間違って塗布しないでください。

●型紙Ａ④と型紙Ｂ⑤の上からＰＡＣプライマー ⑪を塗布しないでください。

●ＰＡＣプライマー⑪は四角穴より10 ㎜ほど広めに塗布してください。

【図７】

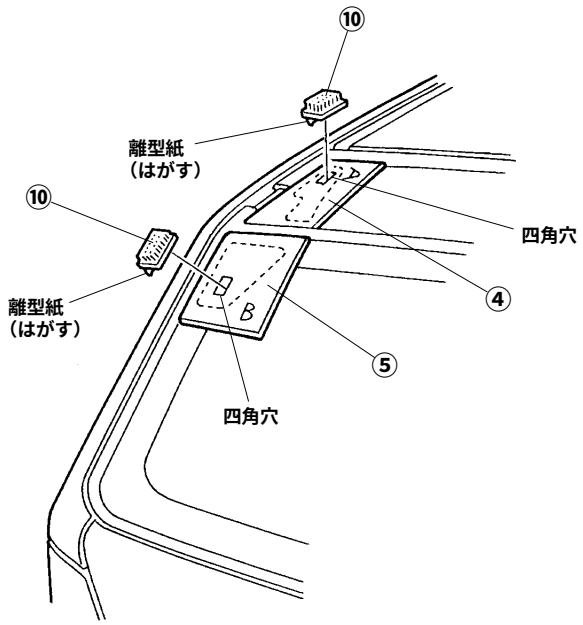


●ＰＡＣプライマー ⑪は後工程でも使用しますので乾燥しないように元の袋に入れて口を折り曲げておいてください。

９．【図６】のように型紙Ａ ④と型紙Ｂ ⑤を合わせ四角穴から見えるガラス面にファスナー ⑩ （２個)裏側の離型紙をはがして取り付ける。

●ファスナー⑩を貼り付ける前に一度，テールゲート スポイラー裏側のファスナーとファスナー ⑩をかみ合わせて感触を覚えておいてください。

【図８】



10. テールゲート スポイラー①裏側(接着面)を脱脂洗浄剤で清掃する。

●テールゲート スポイラー①裏側(接着面)にホコリ，水分，油分等が付着していると十分な接着強度が得られずテールゲート スポイラー①がはがれる原因となりますので必ず指定の脱脂洗浄剤を用いてテールゲート スポイラー裏面を十分に清掃してください。

●気温の低い戸外から暖かい室内にテールゲート スポイラー①を持ち込んだ場合等，一時的にテールゲート スポイラー①表面等が結露する場合があります。この状態ではプライマー，接着剤の作用が著しく低下しますので，1時間程度室内に放置し，結露が無くなってから作業を行ってください。

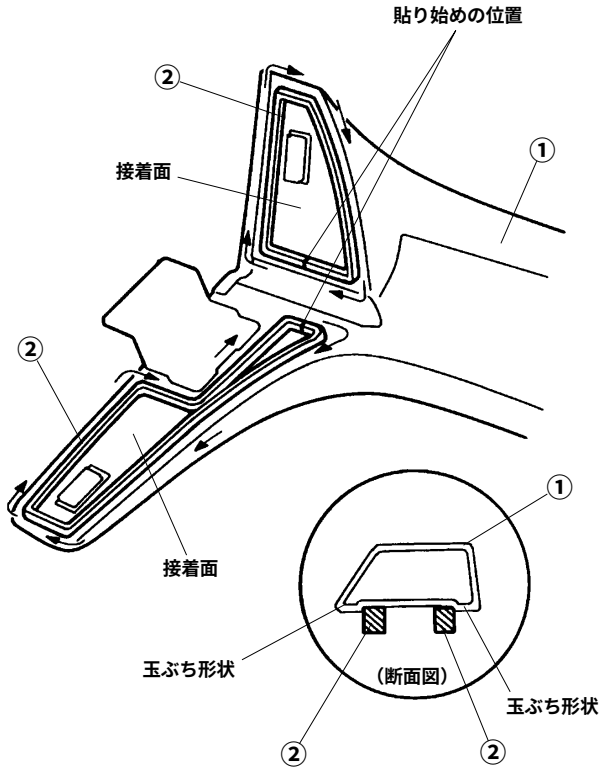
●清掃後は，テールゲート スポイラー①裏側(接着面)に直接手を触れないように注意してください。ホコリ，水分，油分等が付着した場合は，再度清掃してください。

注意 テールゲート スポイラー①裏側(接着面)の塗装を傷付けないように注意して取り扱ってください。万一傷付けた場合は，アクリルウレタン系2液型塗装で補修し，焼付け塗装と同等の品質を維持してください。(タッチアップ ペイント等のラッカー塗装では接着されません。)

11. テールゲート スポイラー①裏側(接着面)の玉ぶち形状の内側にそってダム ラバー②を貼り付ける。

●貼り始めと貼り終り部はスキ間のないように突きあててください。余った部分はカッター ナイフ等できれいに切り取ってください。(スキ間があると接着剤がはみ出す原因となります。)

【図9】

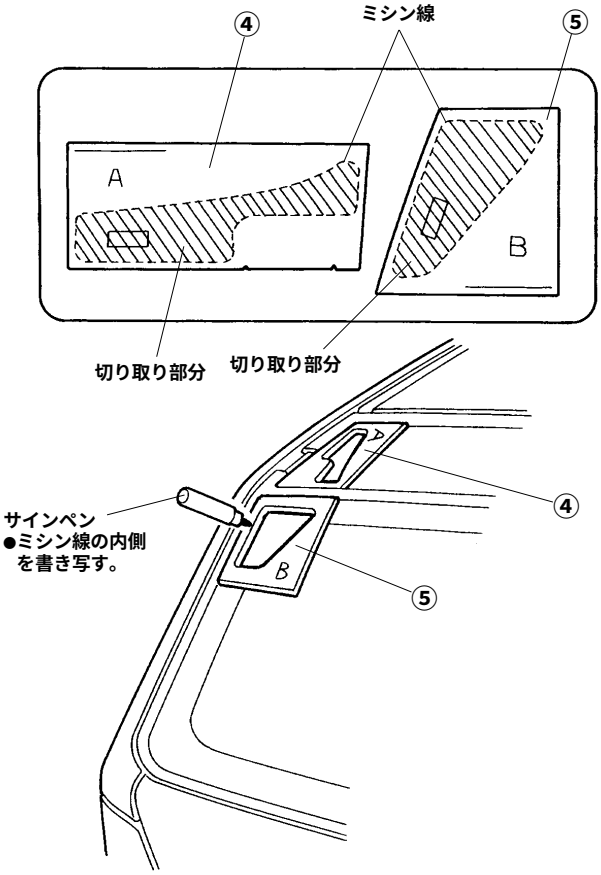


12. 型紙A④と型紙B⑤のミシン線をカッター ナイフで切り取る。

13. 【図6】のように型紙A ④と型紙B⑤を合わせて，型紙A ④と型紙B⑤のミシン線内側をマジック等でガラス面に書き写す。

●清掃したガラス面に直接手を触れないでください。ホコリ，水分，油分等が付着した場合は再度脱脂洗浄剤で清掃してください。

【図10】

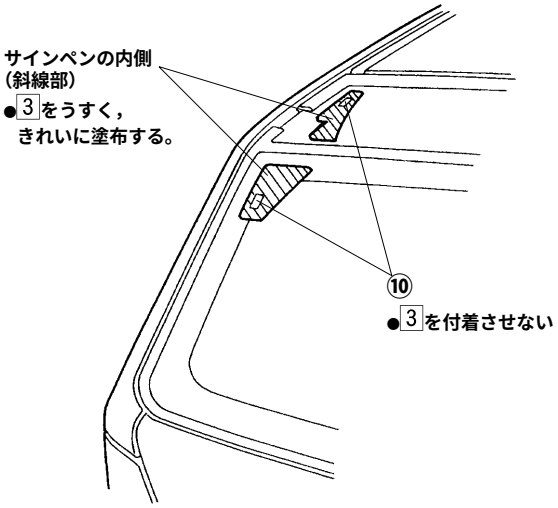


14. ガラス面に書き写したサインペンの内側(斜線部)にガラス プライマー(G)3を薄くきれいに塗布する。

注意 **ガラス プライマー(G)3とボディ プライマー(M)4を絶対に間違えないでください。**

- ●スケ，カスレのないように塗布してください。
- ●ガラス面上のファスナー⑩にガラス プライマー(G)3を付着させないでください。

【図11】

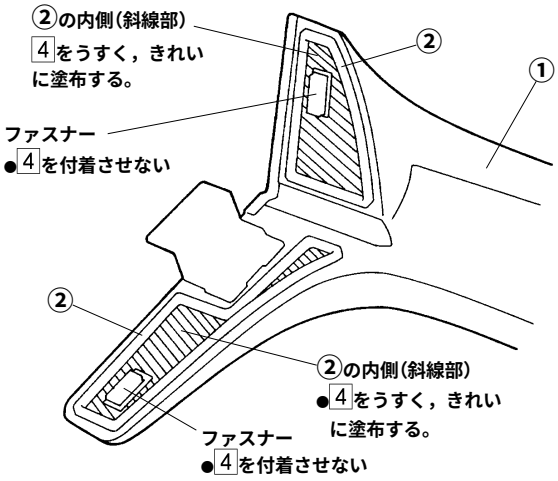


15. テールゲート スポイラー①裏側のダム ラバー②内側(斜線部)にハケ5でボディ プライマー(M)4を薄くきれいに塗布する。

注意 **ボディ プライマー(M)4とガラス プライマー(G)3を絶対に間違えないでください。また塗布する際はハケ5はボディ プライマー(M)4とガラス プライマー(G)3とは分けて使用してください。**

- ●スケ，カスレのないように塗布してください。
- ●テールゲート スポイラー①裏側のファスナーにボディー プライマー(M)4を付着させないでください。
- ●各プライマー塗布後は，10分以上自然乾燥させてください。

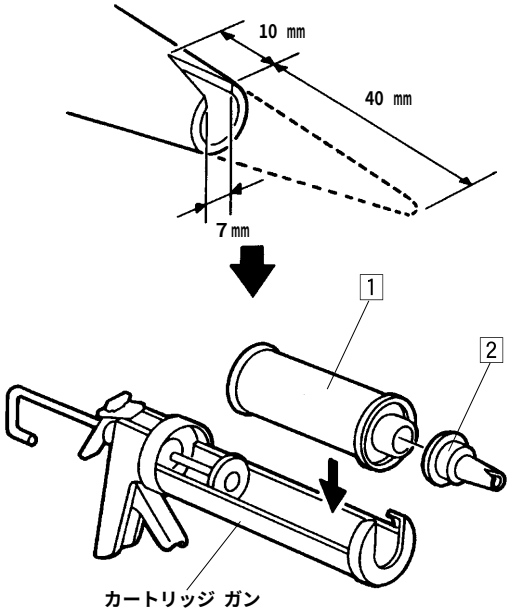
【図12】



16. 【図13】に示す寸法をノズル2に測って，カッター ナイフで切り取る。

17. 接着剤1にノズル2を取り付け，接着剤1をカートリッジ ガンに取り付ける。

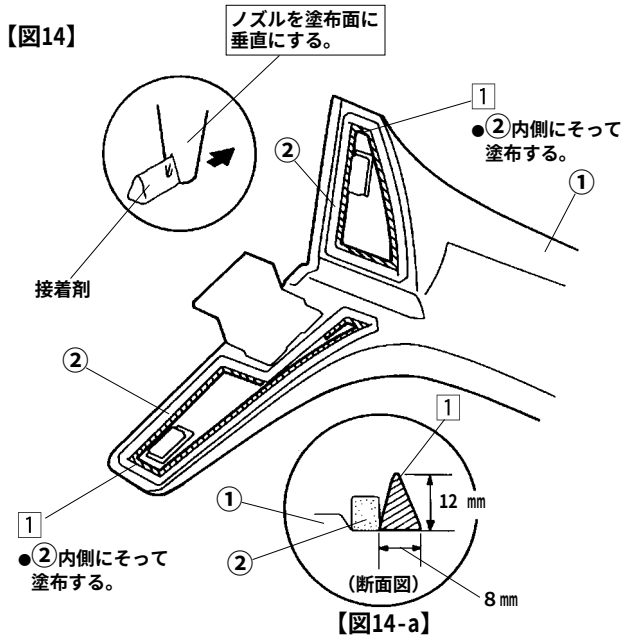
【図13】



18. テールゲート スポイラー①裏側のダム ラバー②内側にそって接着剤1を塗布する。

- ●接着剤1塗布はボディ プライマー(M)4塗布後30分以内に行なってください。30分以上経過した場合は再度ボディ プライマー(M)4を塗布してください。
- ● **塗布する際は，必ずノズル先端を塗布面に垂直にして，塗布してください。**
- ●【図14-a】のように接着剤1を必ずダム ラバー②よりも盛り上げてください。
- ●接着剤1塗布後は，５分以内にテールゲートに取り付けてください。

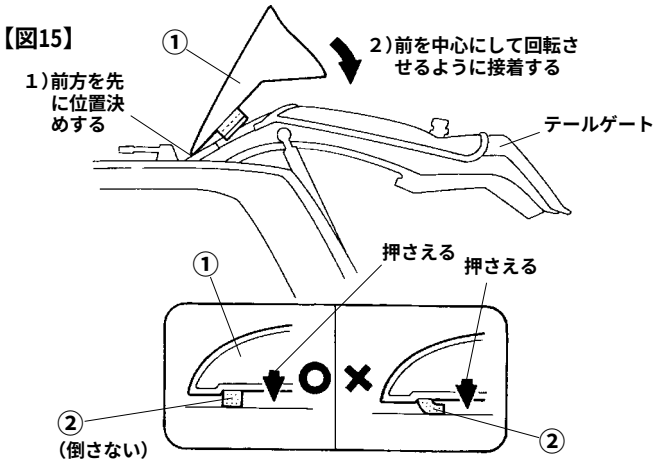
【図14】



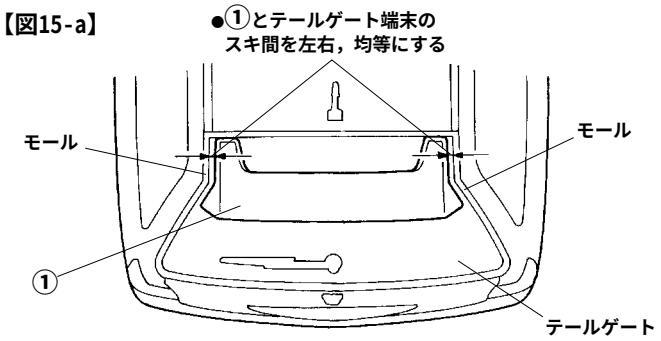
【図14-a】

19. テールゲートを開け，【図15】，【図15-a】，【図15-b】のように，テールゲート スポイラー①を合わせてテールゲートに取り付ける。
- ２人以上でテール ゲート スポイラー①をテール ゲートに取り付けてください。
- 【図15】の１)→２)の順でテールゲート スポイラー①を取り付けてください。
- ダム ラバー②が倒れないように注意してテールゲート スポイラー①を取り付けてください。
- 接着剤1の塗布量が多いとスポイラーまたはガラス面に汚れが発生する場合があります。発生した場合は，直ちにホワイト ガソリンまたはアルコール等をウエスにしみ込ませてふき取ってください。（接着剤乾燥後はふき取ることはできません。）

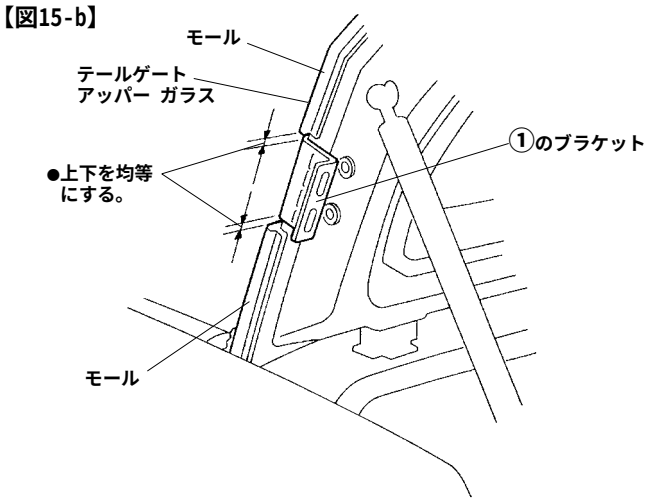
【図15】



【図15-a】

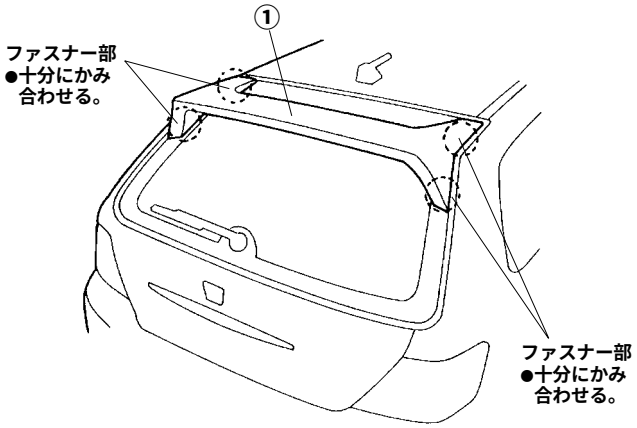


【図15-b】



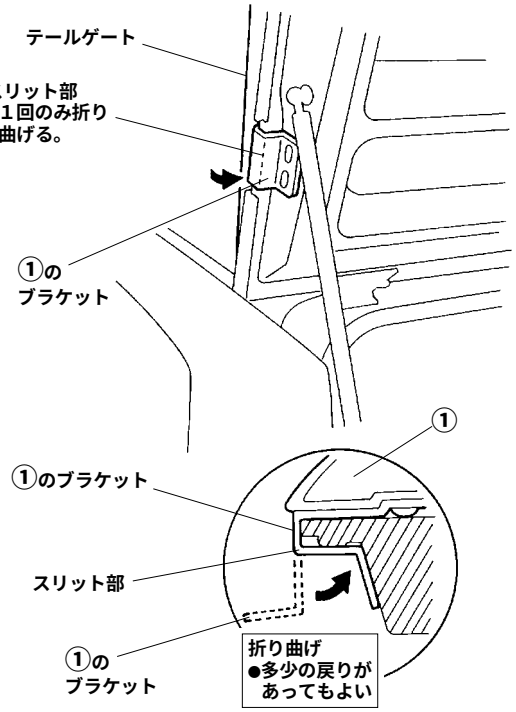
20. テールゲート スポイラー裏側ファスナー部とガラス面に貼り付けたファスナー⑩をテールゲート スポイラー①表側から押して十分にかみ合わせる。
- 部分的に強い力を加えて押すとテールゲート スポイラー①およびテールゲートを破損する恐れがあるのでファスナーかみ合わせ時は広い範囲に対して均等に力を加えて押してください。

【図16】



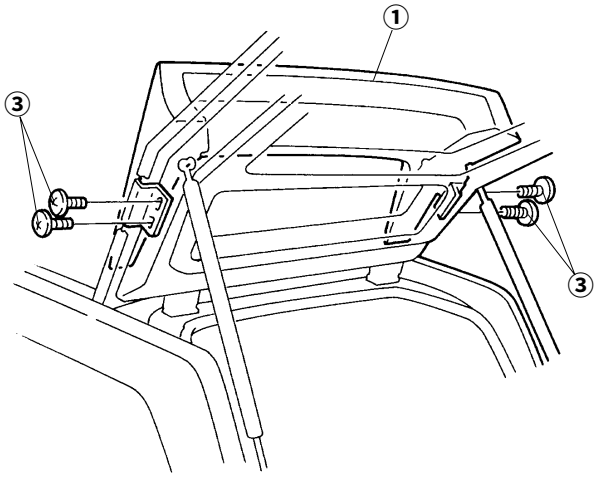
21. テールゲート スポイラー①左右のブラケットのスリット部をテールゲート側面フレームに着くまで折り曲げる。
- 手を放した時に多少の戻りがあってもかまいません。
- **ブラケットの折り曲げは必ず１回のみにしてください。曲げ戻しをくり返し行なうと，ブラケットの強度が低下し破損するおそれがあります。**

【図17】



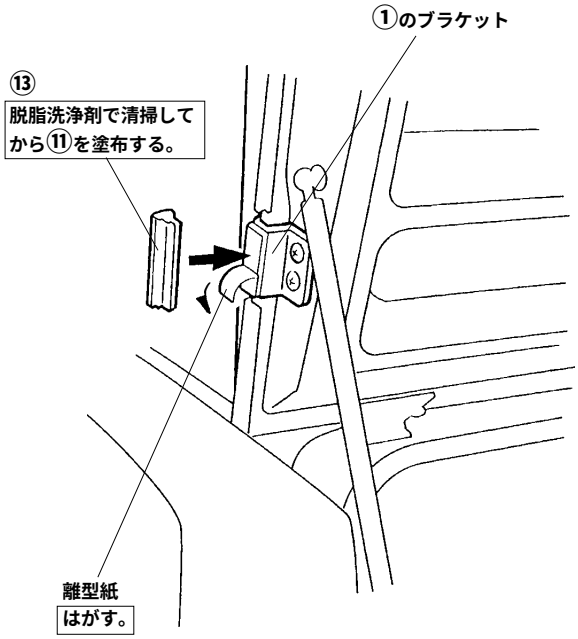
22. スクリュー③４本をテールゲート スポイラー①左右のブラケットに取り付ける。

【図18】



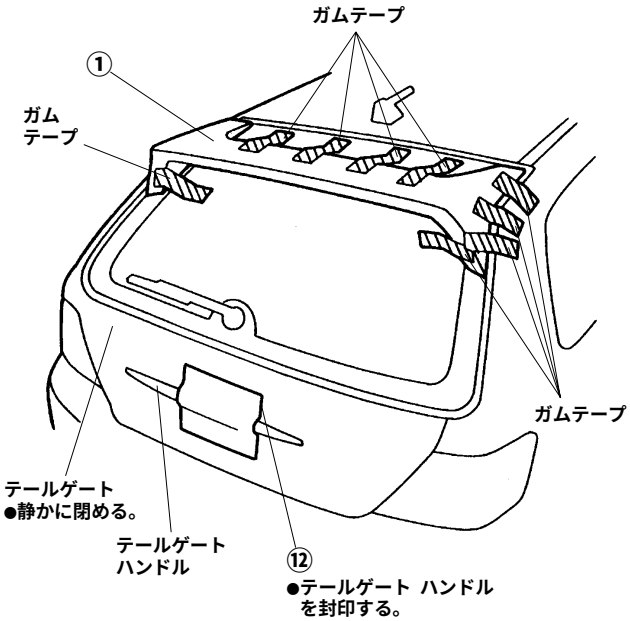
23. モール⑬にＰＡＣプライマー⑪を塗布して，テールゲート スポイラー①のブラケットの離型紙をはがして貼り付ける。
- ●モール⑬の貼り付け位置を確認して，脱脂洗浄剤で清掃してからＰＡＣプライマー⑪を塗布してください。
- ●モール貼り付け時は十分に圧着させてください。特に端部は念入りに圧着してください。

【図19】



24. テールゲート スポイラー①が動かないように静かにテールゲートを閉め，ガムテープでテールゲート スポイラー①を固定する。
25. コーション ラベルⒷ⑫に必要事項を記入して，コーション ラベルⒷ⑫裏側の離型紙をはがして必ずテールゲートハンドルを封印する。

【図20】



26. 最低放置時間後，ガムテープをはがす。
- ●最低放置時間は外気温によって変化しますので下の表を参考にして必要時間を厳守してください。
- ●最低放置時間内はテールゲートの開閉や車の移動は絶対にしないでください。
- ●最低放置時間後の車の移動は静かに行なってください。
- ●走行可能時間以前に洗車等で接着部を水でぬらさないように注意してください。

外　気　温	最低放置時間	走行可能時間
5℃	12時間	36時間
10℃	８時間	24時間
20℃	４時間	12時間
30℃	２時間	６時間

27. 取り付け終了。

取り付け後のご注意

●ユーザーに車を引き渡す際，１週間程度は車に大きな振動を与えないように注意してください。